

(注) 本月報は、主に現地紙における報道を当館限りで日本語でまとめたものです。記事の中の客観事実は日本政府や現地政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。

ベナン月報(2022年6月)

【内政】

- 8日、タロン大統領は歴代国民議会議長3名とブラボヌ現議長、そして別途ソグロ元大統領と面会した。(9日、La Nation 紙)
- 13日、タロン大統領はヤイ・ボニ前大統領と面会した。(14日、La Nation 紙)

【外政】

- 8日、タロン大統領は欧米駐ベナン大使(米、仏、独、蘭、白、EU)6名と面会した。(9日、La Nation 紙)
- 13日、ゴンザレス米国務次官補代理はアベノンシ外務・協力大臣を表敬訪問した。同人は12日から14日ベナン訪問を行った。(14日、La Nation 紙)

【治安】

- 16日、アタコラ(Atacora)県マテリ(Matéri)市ポルガ(Porga)において共和国警察は、テロ行為疑いのあるギニアビサウ人及びガーナ人の2名を逮捕した。(20日、Le Matinal 紙)
- 26日、アタコラ県マテリ市ダッサリ(Dassari)地区にあるダッサリ警察署に対して武装集団が攻撃を行い、警察側は2名が死亡、1名が重傷、武装集団側は2名が死亡した。(27日、L'Événement Précis 紙)

【保健】

- 15日、ベナンに入国する者は新型コロナウイルス感染症に関するすべての文書の提示が不要となった旨閣議決定され、16日午前0時から当該措置が有効となった。(16日、L'Événement Précis 紙)

【経済】

- 13日、ワダニ経済・財務大臣はRFI及びJeune Afriqueの共同インタビューに出演し、ウクライナ危機のアフリカへの影響、ナイジェリアとの関係等に関して言及した。(13日、Le Matinal 紙)
- 3月16日付国際連合貿易開発会議(UNCTAD)の報告書によれば、2020年貿易統計でベナンはアフリカで最大の対ロシア小麦輸入国(年間2万9千トン、760万ドル相当)となった。(20日、L'Économiste 紙)

【文化・その他】

- 23日、ベナン政府は、コルスエアと協定を結び、11月からパリ(オルリー空港)・コトヌ間の移動にコルスエア(エアバスA330-300)を利用することが可能となる旨発表した。(24日、L'Économiste 紙)

※下記内容は、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L'Événement Précis 紙、L'Économiste 紙およびLe Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- ・ 7日、憲法裁判所設立30周年記念式典が行われ、シャビ・タラタ副大統領が出席した。(9日、L' Evénement Précis 紙)
- ・ 8日、タロン大統領は歴代国民議会議長3名とブラボヌ現議長、そして別途ソグロ元大統領と面会した。(9日、La Nation 紙)
- ・ 13日、タロン大統領はヤイ・ボニ前大統領と面会した。(14日、La Nation 紙)
- ・ 25日、ジョンベヌ憲法裁判所長官は、ウンベジ元国民議会議長と面会した。(27日、Le Matinal 紙)

【外政】

- ・ 1～4日、エジプトにおいて第47回イスラム開発銀行の定例会合が行われ、ベナンは次回議長国となり、さらに 6,800 万ドル以上の財政支援協定を締結した。(7日、L' Economiste 紙)
- ・ 2日、アルモンセイリム・駐ベナン・クウェート大使が7年の任期を終えて離任するため、アベノンシ外務・協力大臣と面会した。(3日、La Nation 紙)
- ・ 3日、ベナン・ロシア外交関係60周年記念式典がゴールデン・チューリップホテルで開催された。(6日、L' Evénement Précis 紙)
- ・ 7日、ベナン政府は、ロシアにおいて研修中のベナン人学生157名に対する財政支援を開始した。(8日、Le Matinal 紙)
- ・ 8日、タロン大統領は欧米駐ベナン大使(米、仏、独、蘭、白、EU)6名と面会した。(9日、La Nation 紙)
- ・ 13日、ゴンザレス米國務次官補代理はアベノンシ外務・協力大臣を表敬訪問した。同人は12日から14日ベナン訪問を行った。(14日、La Nation 紙)
- ・ 14日、ベナン・ベルギー合同委員会が行われ、実施中プロジェクトの評価等が行われた。(15日、Matin Libre 紙)
- ・ 27日、ペン駐ベナン中国大使はヤイ高等教育・科学研究大臣と面会し、中国における研修のための奨学金が年間 4,600 万 FCFA 程度用意がある旨説明した。(29日、L' Evénement Précis 紙)
- ・ 29日、アメド・アイシャ駐ニジェール・モーリタニア大使、トンプソン駐ガーナ英国大使、ンジ駐ベナン・ガンビア大使、ランガ駐ベナン・ジンバブエ大使、ヨルダノフ駐ナイジェリア・ブルガリア大使の5大使がそれぞれアベノンシ外務・協力大臣に信任状の写しを奉呈した。(30日、La Nation 紙)

【治安】

- ・ 16日、アタコラ(Atacora)県マテリ(Matéri)市ポルガ(Porga)において共和国警察は、テロ行為疑いのあるギニアビサウ人及びガーナ人の2名を逮捕した。(20日、Le Matinal 紙)

- ・ 26日、アタコラ県マテリ市ダッサリ(Dassari)地区にあるダッサリ警察署に対して武装集団が攻撃を行い、警察側は2名が死亡、1名が重傷、武装集団側は2名が死亡した。(27日、L'Événement Précis 紙)

【保健】

- ・ 15日、ベナンに入国する者は新型コロナウイルス感染症に関するすべての文書の提示が不要となった旨閣議決定され、16日午前0時から当該措置が有効となった。(16日、L'Événement Précis 紙)

【経済】

- ・ 8日、ベナン政府は、農業キャンペーンの一環として注文した27万トンの化学肥料のうち、コトヌ自治港に到着した4万2,000トン分を受領した。(13日、L'Économiste 紙)
- ・ 13日、ワダニ経済・財務大臣はRFI及びJeune Afriqueの共同インタビューに出演し、ウクライナ危機のアフリカへの影響、ナイジェリアとの関係等に関して言及した。(13日、Le Matinal 紙)
- ・ 3月16日付国際連合貿易開発会議(UNCTAD)の報告書によれば、2020年貿易統計でベナンはアフリカで最大の対ロシア小麦輸入国(年間2万9千トン、760万ドル相当)となった。(20日、L'Économiste 紙)
- ・ 21日、ベナン政府は西アフリカ開発銀行と畜産分野事業及び電気・インフラ分野の調査事業における二つの資金協力合意文書に署名を行った。総額は188億FCFAに及ぶ。(22日、L'Économiste 紙)

【文化・その他】

- ・ 5日及び6日、グランポポ市において、第101回ノンビチャ祭が開催された。(7日、Le Matinal 紙)
- ・ 12日、スウェーデンで開催されたfolkサム・ソレンツナグランプリ2022にて、東京2020オリンピックベナン代表(陸上800m女子)のノエリー・ヤリゴ選手が金メダルを獲得した。(14日、Le Matinal 紙)
- ・ 23日、ベナン政府は、コルスエアと協定を結び、11月からパリ(オルリー空港)・コトヌ間の移動にコルスエア(エアバスA330-300)を利用することが可能となる旨発表した。(24日、L'Économiste 紙)
- ・ 27日、コトヌ市に建設されたアマゾン像の囲いが外され、姿を現した。同像は高さ30メートルあり、正式な竣工式は7月29日に行われる。(29日、Matin Libre 紙)